

一泊二日宿泊防災訓練

本校の1年生を対象とした宿泊防災訓練が、6月28日（金）から29日（土）にかけて行われました。今回は、就業技術科の生徒として「防災意識の向上」と「自助・共助の知識と技術を身に付ける」というねらいの下、実践的な訓練に全員が取り組みました。

【非常食準備訓練】



カセットコンロでペットボトルの水を沸騰させて、非常食パックに注ぎました。とても暑い中での作業でしたが、生徒たちは協力して、安全に注意しながら準備を進めることができました。初日の夜は、カレーライス。二日目の朝は、五目御飯とスープでした。

【瓦礫除去対応訓練】



東京消防庁八王子消防署由木分署の隊員の皆様の指導の下、地震で倒れたスチール棚に足を挟まれた人（人形）を救出する訓練を行いました。自分自身の安全確保の仕方や救助方法などを学ぶとともに、実際にペアで協力しながら、人形を素早く救出する訓練を体験できました。冷静になること、仲間を信じること、大きな声で言葉を掛け合いながら、力を合わせるこの大切さを学ぶことができました。

【応急救護訓練】



消防署の隊員の皆様の指導の下、2人でペアを組み、頭や腕の包帯法を学びました。三角巾を使い、相手の気持ちを考え、優しく丁寧に接しながら包帯を巻く練習を行いました。最初はぎこちなさが目立ちましたが、練習を重ねるうちに少しずつ慣れ、自信を持つことができるようになりました。訓練を通して、技術を習得するとともに、共助の精神も学ぶことができました。

【クラス発表】

訓練における大切なポイントや活動して感じたことなどを話し合い、クラスごとに発表しました。その一部を紹介します。「日頃から協力することを心掛けることの大切さが分かりました。」「ワークショップでは、地震の恐さを実感しました。そして、今自分達が何をすべきか分かりました。」「いつ起こるか分からない災害に備えて、私達は日頃から防災グッズや避難場所を確認することが大切だと思いました。」

宿泊防災訓練を通して、“震災はいつ起こるか分からないので、日頃からの備えがとても大切”ということを生徒たちは実感することができました。ご家庭でも今回の経験を活かし、自助・共助の防災意識を高められるようご協力をお願いいたします